

久居藩ゆかりの地を巡ろう!



1 久居八幡宮 はちまんぐう




1670年の城下町建設の際に高通公により久居の総鎮守として建てられ、久居藩の祈願所として歴代藩主や町の人々の信仰があった。

2 玉淀寺 ぎよくせんじ



久居藩の菩提寺。本堂の屋根には久居藤堂家の家紋が付けられ、室内には市指定文化財の初代藩主と2代藩主の木像が安置されている。

3 子午の鐘 とき




1736年に造られ、時刻や火事を知らせた。太平洋戦争期の軍への供出や、伊勢湾台風での落下などを乗り越え、現在も大みそかなどに鐘つきが行われる。

4 賢明寺 けんみょうじ



奈良時代に建設され、織田信長の軍勢により焼失するが、江戸時代に再建。市指定文化財の朱塗りの山門をくぐると、高通公が寄進した銅灯笼が正面に建つ。

5 高通児童公園(久居陣屋跡)



久居陣屋の跡地にある公園で、この一帯は歴代藩主が住んでいたことから「御殿山」と呼ばれる。敷地内には久居の歴史を刻んだ石碑が建ち並ぶ。



--- 奈良街道

美里町五百野で伊賀街道から分岐し、稲葉・戸木を経て久居城下へ入ると、旅人にてぎわう旅籠町の宿場へ。城下を抜け、新家で雲出川を渡り、松阪市中林の月本追分で伊勢街道と合流します。

— 雲出井

藤堂高虎公の信頼が厚く、水利・かんがいので多くの業績を残す西島八兵衛の指揮の下開発された用水路。雲出川を取り入れ約13kmに及ぶ大工事の末に完成しました。

久居誕生350年記念美術展

12/15水~19日 10:00~17:00 (19日は16:00まで) 久居アルスプラザ

久居地域の小中学生や高校生、文化人が「久居誕生350年」をテーマに制作した作品を展示します。さまざまな分野の作品を一堂に展示し、久居誕生350年事業のフィナーレを飾ります。

内容 ●久居文化協会の各部門作品(絵画、書道、華道、写真) ●小中学生による展示「久居のいいね!がいっぱい」 ●高校生部活動作品 ●永久鎮居フォトコンテスト入賞作品 ●茶席 ※華道の展示、茶席は18日・19日のみ



永久鎮居2020フォトコンテスト 春夏の部 最優秀作品